



病診連携通信

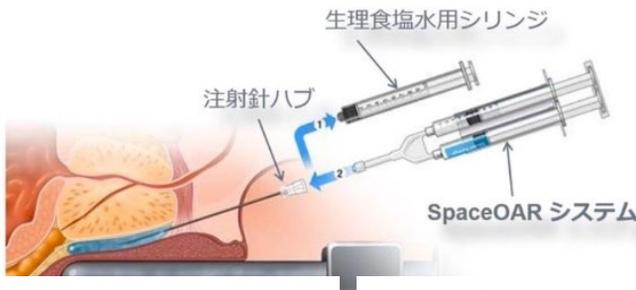
第 50 号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂綜合病院
令和6年 7月吉日

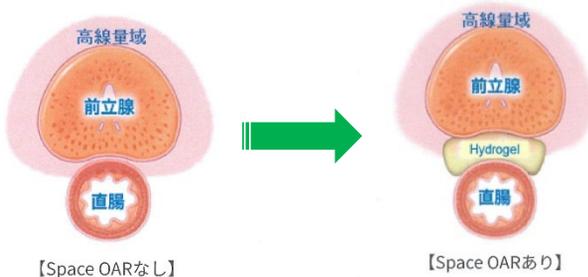
前立腺がん治療 SpaceOARシステムについて

当科では、前立腺がんの放射線治療(IMRT：強度変調放射線治療)を2011年より導入し、年間約60～70例の治療を行っています。

前立腺に放射線照射を行う場合、以前より直腸出血や直腸炎の合併症が懸念されていました。最近、前立腺と直腸の間にハイドロゲルを注入することで、直腸に当たってしまう放射線を極力抑え、より安全に照射を行う方法 SpaceOARシステムを当科でも開始したので紹介します。



経直腸的にエコーを挿入
生理食塩水を注入し安全確認後に
ハイドロゲルを注入
(所要時間約30分)



前立腺と直腸間に約10mmの距離ができる。注入後1ヶ月以内に照射を開始する。

ハイドロゲルは、約3か月から吸収が始まり半年～1年で体内に吸収され消失し、体への影響はないとされています。

今後も経験を重ね、より安全に患者様に治療を提供できるよう努める所存です。症例がございましたら是非ご相談ください。

泌尿器科 千葉茂寿

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または

☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせください。